

## 船舶事故調査報告書

平成27年3月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄司邦昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成26年9月28日 13時30分ごろ～17時00分ごろの間）
発生場所	不明（琵琶湖南部（滋賀県大津市所在のマリーナ東側の砂浜～滋賀県 <small>おうみはちまん おきのしま</small> 近江八幡市沖島西岸の間））
事故調査の経過	<p>平成26年9月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。</p>
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ <small>エフエー エックス</small> F A 300 X、0.1トン 253-32216滋賀、株式会社フロンティア 2.85m (Lr) × 1.06m × 0.43m、FRP ガソリン機関、213kW、平成23年6月
乗組員等に関する情報	船長 男性 50歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成19年3月20日 免許証交付日 平成24年3月14日 （平成29年3月19日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人が乗る2隻の水上オートバイと共に、平成26年9月28日13時30分ごろ、マリーナ東側の砂浜（以下「本件砂浜」という。）から北東方に向けて出発した。</p> <p>友人2人は、16時40分ごろ、本件砂浜に帰ってきたところ、先に1人でマリーナに帰ったと思っていた船長が戻っていないことに気付き、行方が分からなくなったと思い、マリーナ職員に警察へ連絡してくれるよう依頼した。</p> <p>本船は、17時00分ごろ、無人の状態ですら沖島西岸付近に乗り揚げられているところを地元住人によって発見された。</p> <p>船長は、翌29日16時00分ごろ、マリーナ職員からの通報を受けて捜索していた警察の警備艇により、滋賀県<small>やす あやめ</small>野洲市菖浦漁港沖で発見され、溺死と検案された。</p>

	(付図1 事故発生場所概略図 参照)																																																																						
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、視界 良好</p> <p>南小松地域気象観測所の9月28日13時30分～17時00分における気象観測値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時刻 (時:分)</th> <th rowspan="2">気温 (°C)</th> <th colspan="2">平均</th> <th colspan="2">最大瞬間</th> </tr> <tr> <th>風向</th> <th>風速 (m/s)</th> <th>風向</th> <th>風速 (m/s)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>13:30</td><td>25.3</td><td>東</td><td>3.1</td><td>北北東</td><td>7.3</td></tr> <tr><td>13:40</td><td>25.4</td><td>北北東</td><td>2.8</td><td>北北東</td><td>7.4</td></tr> <tr><td>13:50</td><td>25.8</td><td>北北西</td><td>2.0</td><td>北北東</td><td>6.0</td></tr> <tr><td>14:00</td><td>25.4</td><td>北</td><td>3.4</td><td>北</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>14:30</td><td>25.0</td><td>北西</td><td>3.7</td><td>北北西</td><td>10.3</td></tr> <tr><td>15:00</td><td>25.1</td><td>北西</td><td>3.8</td><td>北北東</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>15:30</td><td>24.4</td><td>北西</td><td>5.0</td><td>西北西</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>16:00</td><td>24.0</td><td>西北西</td><td>4.8</td><td>北西</td><td>15.2</td></tr> <tr><td>16:30</td><td>23.5</td><td>北西</td><td>8.2</td><td>西北西</td><td>15.1</td></tr> <tr><td>17:00</td><td>22.9</td><td>北西</td><td>8.0</td><td>北北西</td><td>15.6</td></tr> </tbody> </table> <p>水象：波高 約1m、水温 約22°C</p> <p>大津市北部には、本事故当時、強風注意報が発表されていた。</p>	時刻 (時:分)	気温 (°C)	平均		最大瞬間		風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	13:30	25.3	東	3.1	北北東	7.3	13:40	25.4	北北東	2.8	北北東	7.4	13:50	25.8	北北西	2.0	北北東	6.0	14:00	25.4	北	3.4	北	9.8	14:30	25.0	北西	3.7	北北西	10.3	15:00	25.1	北西	3.8	北北東	10.4	15:30	24.4	北西	5.0	西北西	11.5	16:00	24.0	西北西	4.8	北西	15.2	16:30	23.5	北西	8.2	西北西	15.1	17:00	22.9	北西	8.0	北北西	15.6
時刻 (時:分)	気温 (°C)			平均		最大瞬間																																																																	
		風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)																																																																		
13:30	25.3	東	3.1	北北東	7.3																																																																		
13:40	25.4	北北東	2.8	北北東	7.4																																																																		
13:50	25.8	北北西	2.0	北北東	6.0																																																																		
14:00	25.4	北	3.4	北	9.8																																																																		
14:30	25.0	北西	3.7	北北西	10.3																																																																		
15:00	25.1	北西	3.8	北北東	10.4																																																																		
15:30	24.4	北西	5.0	西北西	11.5																																																																		
16:00	24.0	西北西	4.8	北西	15.2																																																																		
16:30	23.5	北西	8.2	西北西	15.1																																																																		
17:00	22.9	北西	8.0	北北西	15.6																																																																		
その他の事項	<p>船長は、約7～8年前からマリーナに水上オートバイを預け、春から秋にかけて毎週のように遊走しており、遊走経験は豊富であった。</p> <p>マリーナ職員は、本事故当時、船長に異変を感じていなかった。</p> <p>船長は、本事故当日、友人8人とマリーナに来ており、遊走する際は、グループで遊走していた。</p> <p>マリーナ職員は、船長ら3人が、マリーナを出発して約10分後、本船の燃料が少なくなったので、船長だけが単独でマリーナへの帰途についてという話を友人2人から聞いた。</p> <p>本船に、衝突痕は認められず、ほぼ、燃料がない状態であった。</p> <p>マリーナ職員は、船長から、本事故当日が今年最後の水上オートバイの操縦で、燃料を使い切る予定にしていると聞いた。</p> <p>船長は、発見時、救命胴衣を着用し、緊急エンジン停止コードを装着していた。</p> <p>船長は、携帯電話をマリーナに置いていた。</p>																																																																						
分析	<p>乗組員等の関与 不明</p> <p>船体・機関等の関与 不明</p> <p>気象・海象等の関与 不明</p> <p>判明した事項の解析</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、28日13時30分ごろ、本件砂浜から北東方に向け出発後、17時00分ごろ沖島西岸付近に無人で乗り揚げているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えら</p>																																																																						

	<p>れるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況は明らかにすることができなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が、本件砂浜から北東方に向けて出発後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防水型携帯電話を常に携帯し、落水した際の連絡手段を確保しておくことが望ましい。</li> <li>・ 水上オートバイは、単独で遊走しないことが望ましい。</li> </ul>

